ディスコン通信・彩の国

埼玉県ディスコン協会　会報
第７号

２０２６年（令和８年）１１月発行

【巻頭エッセイ】最初はグー！

埼玉県ディスコン協会　会長　山田　武

ディスコンのゲームを始める時、両チームが向かい合って整列し、キャプテン（先頭の人）がジャンケンをして勝った方が赤チームで先攻、負けた方が青チームで後攻と決められている。

ルールブックに書いてはいないが、ジャンケンする時は必ずといってよいほど「最初はグー」といってから「ジャンケンポン」で勝ち負けを決めている。何故「最初はグー」というのだろうか？それは先出し・後出しの有利不利を生じさせないため、お互いのリズムを合わせるのが目的である。



これを広めたのは「ザ・ドリフターズ」の志村けんだといわれている。グループの打ち上げ会で盛り上がり、支払いする人をじゃんけんで決めることになったが、みんな酔っぱらっていてタイミングが合わなかった。その時志村が「じゃあ、みんな手を挙げて最初はグー！ジャンケンポン！」としたのが始まりだった。

ＴＢＳテレビのバラエティー番組「8時だよ！全員集合」において、志村けんと仲本工事が西部劇の酒場で「最初はグー！ジャンケンポン！」といってじゃんけんをし、負けた方が罰ゲームをするコントが大いに人気を博した。この掛け声が評判で全国の子供たちに広がったものだ。現在では「最初はグー！」が一般的になっているが、それまで全国で統一されていなかったじゃんけんの掛け声を、志村けんが統一したといわれている。

志村けんは、隣町の東村山出身で高校を中退していかりや長介に弟子入りし、ヒゲダンスやバカ殿様等で人気を博したが、２０２０年新型コロナに罹り７０歳で死亡。東村山駅前には名誉市民として銅像が建っている。

メンバーでは志村けんと並んで加藤茶が人気者で、そのドタバタ劇がお茶の間で笑いをとった。加藤茶は若い奥さんを貰い今でもテレビコマーシャルで活躍しているが、いかりや長介も故人となり、「ザ・ドリフターズ」も解散して久しい。

「最初はグー！」の語源と由来を今の若い人たちや子供たちに話してもピンとこないと思い、会報に書いて残しておこうと思いついた次第である。

令和７年度埼玉県レクリエーション大会in所沢に参加して

埼玉県ディスコン協会事務局長　松本　元伸

埼玉県レクリエーション大会は、毎年秋に東西南北の市町村持ち回りで開催されます。令和７年度は所沢市制施行７５周年記念事業の一環として、10 月 19 日（日）秋晴れの下、所沢市レクリエーション祭りを兼ねて所沢市民体育館サブアリーナでの総合開会式によってスタートしました。冒頭のオープニングアトラクションとして、「重松流祭囃子　演奏・演武」及び「武術太極拳　演武」が勇壮な演奏の下で演じられ、開会式を盛り上げました。

国歌・県歌斉唱。主催者・来賓挨拶の後、功労者・優良団体表彰があり、当協会が優良団体として表彰状が授与されました。私も開会式に参加しましたが、大いに感謝・感激いたしました。

午後からの種目別交歓会は、市民体育館のほか市民武道館・航空記念公園・こども未来館・パークゴルフ場・近隣小中学校を利用し２１種目の体験会が行われました。ディスコンの会場は、市民体育館メインアリーナの入口付近のベストポイントにコートを設置し、所沢支部の皆さんの参加・指導により、大勢の市民参加で大いに賑わいました。市民の方にディスコンの楽しさをPR出来てとても良かったと実感しました。最後に参加会員皆さんで記念撮影を行い（下の写真参照）、清々しい気持ちで帰路につきました。



優良団体表彰の栄に浴して

当協会会長　山田　武

前記のとおり、所沢市民体育館で開催された埼玉県レクリエーション大会の総合開会式において、当協会は令和７年度埼玉県レクリエーション協会の優良団体として表彰されるという栄に浴しました。令和７年度は８団体が表彰対象となり、当協会が８団体を代表して私が黄色のユニフォームを着用して壇上に上がり、本木会長から表彰状（写真）を受理しました。嬉しさ一杯で高々と表彰状を掲げる写真をご覧下さい。


表彰状

埼玉県ディスコン協会様

貴団体は長年にわたり地域において広くレクリエーション活動の振興に尽力されましたここにその功績をたたえ表彰します

令和七年十月十日

特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会
埼玉県知事　大野元裕

特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会
会長　本木茂



当協会は、２００７年（平成１９年）に設立し、２０１４年に川口支部発足により５市町に活動の拠点ができました。これにより埼玉県レクリエーション協会（以下レク協という）に加入の条件が整ったので、上尾の総合スポーツセンター内にあるレク協事務局に出向き加入を打診しました。所沢市のレク協加入は中々認められませんでしたが、当時の県レク協卯月副会長には簡単に加入を認めて頂き、２０１５年（平成２７年）に正式加入を果たしました。

加入後丁度１０年が経過しましたが、その間レク協の開催行事（県レク大会、ニュースポーツ講習会、指導者研修会、新年会等）には積極的に参加してきたことが評価され、今回の表彰に至った訳です。

令和７年度県レク協大会は、当協会発祥の地所沢で開催され、そこで当協会が表彰を受けるという、巡り合わせに不思議なご縁を感じ、喜びもひとしおであります。



【来賓の小野塚所沢市長（左端）とマスコットのトコロンを交えて記念撮影】

第１８回埼玉県ディスコン大会結果報告

当協会事務局長　松本　元伸

開催日時：令和７年１１月５日（水）１３：００～１６：３０
開催場所：上尾スポーツ総合センター　アリーナ全面
参加チーム：２１チーム（１チーム３名編成、２名は不可）
参加人数：競技者６３名、スタッフ９名（うち２名は競技者兼務）合計７０名
参加費：一人５００円（当日支部ごとに徴収）
配布資料：大会開催要項、参加者名簿、競技方法、タイムスケジュール、組合せ表、コートレイアウトなど。
会場設営：コートはテープ（ピンク色を使用）節約のため、既存のバドミントンラインを利用し７面（５m×１０m）を設置しました。なお、エンドラインの両サイドには三角コーンを置きました。
また、全日本ディスコン交流協議会の公式ルールブックのコートサイズに従い、ポイントライン、選手待機ライン、無効ディスク保管ラインを設定しました。
得点表（A３サイズ、署名欄付き）とコート別試合順序表（結果記入欄あり）は、エンドライン外側にベニヤ板２枚を椅子の上に置き掲示しました。
競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計４試合を実施。
１コートに３チームが入って、各チーム２試合と審判を行い（主審不在チームについては、スタッフが主審を担当)、コートを移動して後半戦の２試合を行いました。
１試合１２分で７点先取制。時間内で試合が終了した場合も練習は不可。試合結果は勝点制で勝ちは３点、引分けは１点、負けは０点とし、４試合合計で勝点が同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順（全て同点の場合は、キャプテンのジャンケン）で順位を決定しました。
大会趣旨：
①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、１年に１回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競います。
②この大会は第３８回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位３チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付され、また、埼玉県レクリエーション協会から５万円の補助金が支給されました。
参加チーム：さいたま市５チーム、横瀬町２チーム、川口市３チーム、上尾市４チーム（うち３チームは主審不在)、所沢市６チーム、混成１チーム、の合計２１チームが参加しました。受付時にチーム名札を配布し全員着用。
開会式：　チーム番号順に整列して、松本事務局長の開会宣言で始まり、山田会長から今大会の開催に当って、上尾支部の事前準備、会場設営に謝意が表明されました。また、参加予定のスタッフ・選手全員が一人も欠けることなく集ったことは素晴らしいと感謝の言葉が述べられました。
前回優勝の上尾チームから優勝カップが返還され、力強い選手宣誓がありました。
続いて磯副会長から競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコン交流協議会発行の公式ルールブックのルールを採用し、キャプテン及び２番３番の投盤順は本大会中変更できないことや、試合開始時間に選手が揃わない場合の規定等の説明がありました。
試　合：準備体操の後、各コートに分かれて試合を行いました（試投はなし)。試合開始と終了は、フ

ォイッスルに従い全コート一斉としました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。



表彰式:集計担当の越河氏から成績発表があり、山田会長から賞品等が授与されました。上位入賞は下記のとおり。

優　勝:さいたまＳチーム（４勝・勝点１２、得点３０、失点３）写真左から長澤、岡田、鷹巣（敬称略）
優勝チームには、優勝カップ・個人別県知事賞状・賞品が授与されました。

準優勝:さいたまＮチーム（４勝・勝点１２、得点２４、失点７）

第３位：川口Ｂチーム（３勝１敗・勝点９、得点２３、失点１０）

なお、混成チームが川口Ｂチームと全て同点となりましたが、ジャンケンの結果４位となりました。

賞品授与：上位３チームの他に５位、７位、１０位、１５位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡されました。

なお、各チームに試合結果集計表が配布されました。

閉会宣言：町田副会長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮り散会しました。



【第７号】合宿親睦研修特集

2025 年度合宿親睦研修会実施報告

埼玉県ディスコン協会　会計担当理事　新井田　弘

開催日時：12 月 3 日（水）～4 日（木）

開催会場：ニューサンピア埼玉おごせ（温泉と体育館有り）
越生町古池 700　Tel：049 - 292 - 6111

開催内容：1 日目は観光と宴会、2 日目は体育館で研修会及び昼食・反省会

観光場所：坂戸市にある国内最大規模を誇る台湾道教のお宮「聖天宮」見学

交通手段：全員電車で若葉駅に集合。ホテルの無料送迎バスを利用。
参加人数：16 名（男 6 名、女 10 名）（所沢 7 名、さいたま 7 名、川口 2 名）
参加費：@13,000 円を当日集金。
　　見学代、1 泊 2 食代、体育館使用料、昼食代、保険代、宴会と個人戦ゲームの賞品代、宴会の飲み物代を含めると一人当り約 15,000 円かかったが、不足分は寄付金などでまかなうことができた。
宿　泊：男性 6 名；10 畳和室 3 部屋（各部屋 2 名ずつ）
　　女性 10 名；10 畳和室 4 部屋、洋室 1 部屋（各部屋 2 名ずつ）
温　泉：自家源泉、泉質 PH10．3　強アルカリ性で「美白の湯」
持参品：体育館シューズ、公式ルールブック（ユニフォーム等服装は自由）
スケジュール
1 日目；14:10　東上線若葉駅東口バス乗り場に全員定刻に集合
　　14:30～15:00　路線バスにて戸宮交差点下車「聖天宮」へ　※１．
※１．「聖天宮」は、日本国内に現存する台湾道教のお宮として最大級の規模を誇り、豪華絢爛な造りは天界の悠久の宮殿を思わせる。神と皇帝のみに使用する黄色い屋根瓦と龍、ガラスとタイルで造られた屋根飾り、透かし彫りされた 5ｍの 1 本の石柱等、一見の価値がある。
（見学後全員で記念撮影）



　　15:44～16:40　若葉駅からホテル送迎バスにてホテルへ
　　16:40～18:00　チェックイン、入浴
　　18:00～19:00　食堂で夕食（山田会長挨拶、松本事務局長乾杯）
　　19:00～20:30　幹事部屋に移動。宴会、ゲーム　二次会　※２
※２．持ち寄りの飲み物とおつまみで懇親会（提供して頂いた方に感謝）。参加者名簿を基に自己紹介の後、ビンゴゲーム、漢字の文字当てクイズ等（賞品あり）で大いに盛り上がった。
2 日目：6:00～8:00　起床、朝風呂、朝食
　　8:00～8:50　チェックアウト
　　8:50～9:20　体育館でコートづくり（2 面）
　　9:20～10:05　個人戦ゲーム

【個人戦内容】賞品あり　※３

① **ベストヒット**：投盤ラインから約９ｍの位置にポイントを固定し、１人づつディスクを赤青交互にポイントに近付けるように投盤する。一番近いディスク以外のディスクは撤去する。全員が投盤終了し最後まで残った者１名が勝者となる。(1 コートで 2 回実施)

② **ポイントとディスク**：エンドラインから３ｍ・左右のサイドラインから１ｍのゾーン及びエンドラインから１ｍ前記の左右ゾーンに接する８ｍのゾーンにポイントとディスクを投盤し、ゾーン内のポイントとディスクが最短距離の者が勝者。(2 コートで実施)

③ **ベストポイント**：投盤ラインから７ｍの位置に縦横 1.5ｍの正方形のゾーンを設置し、その中に 0.5ｍの桝目を９個設置し各桝目に１～５の点数を配点し、３枚のディスクを投盤してその合計点を競う。(2 コートで実施)

※３．普段のディスコンは２～６人のチームで練習・試合を行っているので、個人戦ゲームでは普段とは趣きが異なり、賞品も用意されているので、全員和気あいあいとした雰囲気の中でもかなり緊張した表情で各ゲームに臨んでいた。投盤スキルアップには格好のゲーム形式となった。

10:05～10:15　休憩（10 分間）

10:15～10:57　団体戦ゲーム

【主審体験研修・団体戦の内容】　※４

・選手・主審：１２名、コメンテーター・得点係兼タイムキーパー：４名
・コート２面使用、４チーム（１チーム３名）を事前編成
・各チーム総当たりリーグ戦を実施（各チームは 3 試合）試合は 12 分・7 点先取制
・審判は事前選出された主審のみチーム内より充当し、主審選出による欠員は各コメンテーターを充当する。得点係は欠員補充以外のコメンテーターが兼務する。
・各コメンテーター兼得点係は予め用意されたチェックシートに基づき評価する。

10:57～11:20　　コート（2 面)、用具（2 セット）撤収・体育館清掃

※４．各主審体験研修対象者は、他支部の選手・コメンテーター（兼・得点係）への遠慮も感じられたが、短時間で普段通りの主審基本動作の実施が見られた。

【昼食・反省会】

11:30～12:30　昼食・反省会（食堂にてカレーライスを食しながら）

松本事務局長が、チェックシートの内容を説明。各コメンテーターの気付いた改善点としては、やや声が小さい、遠近判定が若干遅い、イニング間の競技進行促進（ディスク回収時に得点表記載内容を確認し、次のイニングの先攻チーム名・先頭投盤者の下げ札番号を発表し進行を促す）の欠如等。一方良い点としては、主審の適正な立ち位置、無効ディスクの処理、ポイントアウト処理等。全員がコメンテーターの発表・説明を傾聴し中身の濃い反省会となった。

12:50 に送迎バスでホテル出発の予定だったが、温泉（美白の湯）入浴の要望があり予定を変更。

12:50～14：30 入浴希望者 7 名は日帰り入浴料の半額割引にて入浴。入浴しない 9 名は、休憩室等で懇談。

14:45　ホテル送迎バスに乗車。バスの車中では、食事も温泉も大満足、来年もこの会場で開催しようとの声あり。

若葉駅で解散。

２０２５年度合宿親睦研修会に参加して

さいたま支部　田中　トシ子

支部長はじめ７名が参加させて頂きました。１日目は坂戸市にある台湾道教のお宮５千頭の龍が昇る「聖天宮」の見学。台湾一流の宮大工を呼び寄せ、15 年かけ建立されたお宮には目を見張るばかりでした。ホテル送迎バスにてニューサンピア埼玉おごせ（温泉・体育館あり）に移動。夕食後の懇親会では、ビンゴゲーム、漢字の文字当てクイズ（賞品有り）等は楽しいひとときでした。

翌朝、体育館でのベストヒット賞、ポイント投盤とコート活用の戦術は賞品有りの個人戦、また主審体験研修ではコメンテーターによる評価があり緊張した場面の中、和やかな交流研修でした。

昼食後の反省会では、コメンテーターのチェックシートによる説明には、基本動作を再確認すると共にこれからの活動に生かして行きたいと思います。

天然温泉・美肌効果の「美白の湯」につかり明日への活力として、心身共に整う温泉でした。

幹事の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

【第７号】インストラクター研修特集

インストラクター研修に参加しての思い

横瀬支部　小松田　晴美

私は、昨年芦ヶ久保でのディスコン体験会に参加しました。やっている内に面白くなってきていると、その時支部長さんからインストラクター研修会に参加してみないかと言われ受講することにしました。今年７月に県協会が開催する研修会会場は所沢市民体育館で、横瀬からは私ひとりでしたがインストラクター研修会に参加しました。

当日はルール解説、メジャーでコート作りと投法・戦術などを教えて頂いたのちに、午後からは３名１チームで３チーム作り、主審・副審・得点係を体験しました。初対面の方とチームを作りましたが、私はすごく緊張してしまいました。

そのままゲームを行い理解いたしました。今度は支部に帰ってできるか？心配でした。その後試験を行い、参加者７名は全員合格のことがわかりホッとしました。

研修会も終わり、翌週支部へ帰ってからは支部の先輩方に見守ってもらいながら主審や得点係、副審などやっております。研修のおかげで今まで以上に楽しくゲームをやっています。今後は今まで以上にスムーズにゲームを進めていきたいと思うことと、このゲームを多くの人に知って頂き、参加者をもっともっと増やしていきたいと思っています。

第３７回ディスコンインストラクター認定研修会に参加して

川口支部　佐藤　保

ディスコンとの出会いは、毎週グランドゴルフをしているメンバーの方からディスコンというゲームがあるのでやってみませんかとのお誘いからでした。実際にやってみたところ、最初は簡単そうでしたがなかなかうまくいきません。早速川口支部に入会しルールブックも購入しました。何回かゲームを経験したところで、正式なルール・競技方法などを学びたく、インストラクター認定研修を受け

ることにしました。研修会には川口支部の役員さんが引率してくれ、心強かったです。

研修内容は、◎ルール解説、投法と戦術、競技と審判実技演習、◎インストラクターの審査試験・解説、◎講義：①健康増進と指導者の心得（高齢者を取り巻く環境）、70 代の活動期（70 歳が老化の分かれ道）②ディスコン協会の活動状況

（１）ルール解説ではインストラクターの役割と公式ルール、得点表とリーグ戦表の記入演習、コートの設営、競技の進め方、反則、得点の採点、距離の測定等。非常に分かり易い説明でした。

（２）投法と戦術では会場の環境応じての競技方法（コートのサイズ、時間、点数等）、投盤前及び試合中の注意事項などが試合をする上で大事であると認識しました。

戦術については、投げ方の方法及び投げる狙いなど色々な技術についての講習でした。

（３）競技と審判実技演習では、受講者全員でゲームを行い良いプレイには拍手があがりました。また受講者全員が主審、副審、得点係を行い、それぞれに自信を持って判断し、大きな声で指示する事が大切だと指導していただきました。

（４）講義は健康増進等（高齢者を取り巻く環境）と指導者の心得・役割についてでした。

研修会に参加して正式なルール及び競技方法、審判の実技演習など非常に勉強になりました。指導者の心得として多くの人が楽しんでゲームをすることができれば良いと思いました。

研修会講師及びスタッフの皆様お世話になりありがとうございました



【第３７回ディスコンインストラクター認定研修会集合写真】

前列が受講者　一番左：横瀬の小松田さん、左から３番目：川口の佐藤さん

【第７号】支部便り

横瀬支部便り

横瀬支部　村上　ケイ子

現在横瀬支部は、町田支部長をはじめ２２名です。私ども支部も高齢化のせいもあり会員数が年々減少傾向にありますが、毎週木曜日は午前９時～12 時頃まで芦ヶ久保活性化センターでの練習会です。今は 10 月の県大会を目指し、３チームのメンバーも決まり、ゲームに笑いに拍手にと楽しい憩いの場所となっております。芦ヶ久保活性化センターは西武秩父線・芦ヶ久保駅から徒歩３分のところにあり、空調設備完備の整った会場を無料で借用し、盛り上がって練習を行なっております。

私事ではございますが昨年８月に、転倒して腰骨圧迫骨折になり辛い思いをしました。１ケ月ほど

はコルセットと杖を頼りにリハビリがてら参加させていただいたおかげで、大した後遺症もなく素晴らしい仲間に感謝しながら健康で好きなディスコンを少しでも長く続けていけます様に願っております。

皆様是非、横瀬町の活性化センターに遊びにお出かけください。支部一同でお待ちしております。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

上尾支部便り

上尾支部　輿石　三枝子

暑い夏も終わりを迎え、秋らしい季節になってきました。日頃より役員の方々には大変お世話になりそのご苦労には心から感謝いたします。

今回は私たちのチーム、オールフレンドディスコンクラブの活動を紹介します。上尾・平方と桶川・川田谷のメンバーで構成され、別々の所で練習しています。練習会は平方は毎月第 1 日曜日、川田谷は毎週火曜日に開催しています。平方はメンバーが 4 名と少なく川田谷の女性メンバーが応援して練習を行っています。先日は年 1 回の上尾支部の大会で全員が集まり友好を深めました。

今回支部便りの依頼があり、昨年の山田会長の巻頭言を改めて読み、まさに自分自身のことだと感じました。何より体に気をつけてメンバーと親睦を深めるよう努力していきたいと思います。

さいたま支部便り

―ディスコンに出会ってー

さいたま支部　国和　頼美

ディスコンて何？初めて聞かされたのは、我がさいたま市ディスコン協会の会長金森さんからのお誘いのあった時でした。プール運動の後、風呂で裸状態、お互いお腹の大きさを比べっこ・・・(笑い)・・・その時、ディスコンという競技をやっているので見学に来ない？と。

それから病みつきになり、ポイント？ディスク？どう投げるの？会員の皆さんが親切に教えてくださり楽しみになりました。

所沢大会でよく解らないまま参加して、一緒にチームを組んだ方に迷惑をかけながら 3 位に！！ハラハラドキドキを経験。あれよあれよという間に全国大会出場で奈良まで行き、ディスコンの奥の深さを感じました。そしてこの年齢でインストラクター認定研修会、合宿親睦研修会等に参加してそれなりに現在楽しんでいます。

今年の 3 月にテレ玉記念杯でファミリー・仲良しグループでの競技で一緒に組んだ方と優勝出来たことで、今ではその方もディスコン協会に入会して下さいましたので一緒に楽しんでいます。

このディスコンに出会ったことに感謝です。

―抱負―

さいたま支部　高橋　稔

2025 年 12 月に定年退職した時に尾間木公民館のメンバー募集にディスコンがありまして、最初ディスコンて何？？はてなが沢山ありまして、体験で行ってみたところこんなに楽しい事あるんだと驚

きました。ポイントが動くことで最後まで分からない展開が面白いと思いました。一緒にプレイするお兄さまお姉さま方も優しくて素敵な方ばかりで、楽しく活動させていただいております。

まだまだディスコンを知らない方が多いと思います。もっともっと多くの方にこんなに楽しいディスコンを知っていただき、和気あいあいとしたコミュニケーションを取って日々の活力になって頂けたら皆さん幸せになると思います。

「楽しむことが一番」が自分の理念であります。その理念にぴったりくるディスコンを皆さんで盛り上げていけたらと考えております。ディスコンサイコー！！以上です。

川口支部便り

―川口支部長交代―

川口支部　　服部　孝司

今年度より伊藤前支部長の後任として川口支部長に就任いたしました服部ございます。どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤前支部長には２０１４年の支部立ち上げ後、２０１６年からは第２代支部長として長期にわたり支部発展にご尽力いただきました。また、現在も引き続き支部の相談役としてご協力いただいております。

支部発足から現在までの経緯につきましては会報第６号に伊藤前支部長が寄稿された「川口支部発足当時を振り返って・支部設立１０周年によせて」に発足時のご苦労、その後の現在までの経緯につきまして記載されておりますので、未読の方はぜひご一読ください。

私はディスコンについて何も知らずにおりましたが、知人の紹介で２０１８年に川口支部内に設立されました上青木地区の練習にはじめて参加いたしました。なかなか思うようにディスクを投げる事もできませんでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。

その時にいただいたディスコン紹介のリーフレットに「いつでも、どこでも、だれでも出来るユニバーサルスポーツ」とありましたので、それならば続けてみようと２０１９年に川口支部に入会し現在にいたっております。

支部長交代にあたりましては、伊藤前支部長のディスコンに対する姿勢を手本といたしまして川口支部のため、埼玉県ディスコン協会のために力を尽くしてまいります。

本部の皆様、各支部の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

所沢支部便り

～好プレーに拍手、珍プレーに笑いが飛び交い楽しみました！～

所沢市ディスコン協会会長　磯　竹栄

（兼埼玉県ディスコン協会副会長）

第 15 回所沢オープンディスコン大会は、こどもと福祉の未来館、狭山ヶ丘コミュニティセンター、並木公民館、松井公民館、宮本町、市民活動支援センター及び川越市北公民館や霞西公民館等の会場で活躍している団体、総勢 20 チーム（60 人）、スタッフ 13 人の合計：73 人が参加して、盛大に開催されました。その内容等については、次の通りです。

＊日時：2026 年 9 月 29 日（火）13：00～17：00

＊会場：所沢市こどもと福祉の未来館・体育館

＊参加費：200 円／1 人

＊主催：所沢市ディスコン協会

後援：埼玉県ディスコン協会、ＮＰＯ法人ときめきライフ埼玉

＊競技内容：3 人 1 チーム、1 コートに 4 チームが入り、総当たりのリーグ戦、１チーム３試合を行いました。5 コートで各チームが激しく順位を競いました。

初めに、所沢市ディスコン協会会長の磯　竹栄より、開会宣言と挨拶があり、続いて、県ディスコン協会会長の山田　武氏の挨拶を頂きました。次に、競技の説明、準備体操を行い、選手は各コートに別れて試投を行い、競技に入りました。競技では、上位チームの力量に差がなく、激戦が続き得点差により順位が決定しました。また好プレーに拍手、珍プレーに笑いが飛び交う中、楽しく、新しい交流が出来ました。

＊成績は次の通りです。

順位決定：勝点⇒得点の多い⇒失点少ない⇒キャプテンのじゃんけん

	チーム名	勝点	得点	失点	選手名		
優　勝	ふれあい会 A	9	17	2	佐野重信	芦田政芳	野網陽二郎
準優勝	さわやか会 B	9	17	4	高須賀悟	田村久栄	西口徳弘
第３位	宮本町	9	16	7	松本長寿	小山誠一	米田綱子

＊勝点：勝ち・3 点、引き分け・1 点、負け・0 点



優勝チーム



編集後記

県協会監事　伊藤　はま子

会報誌第７号の発行おめでとうございます。近年は異常気象による災害が多発し、とくに２０２６年は世界中が甚大な災害に見舞われ、予想を超えた大切な生命が失われている様に感じます。誰にとっても健康で長生きは一生の願いです。老化の始まりは下肢の衰えから。足腰の運動・お口の体操・脳の活性化に役立つこの軽スポーツディスコンは手軽で誰でもが参加出来る室内競技として、高齢者に最適なスポーツだと実感しています。地域の行政・福祉施策を大いに活用し、新支部増設に向け皆で力を合わせ、当協会を盛り立てていきましょう。

発行責任者：埼玉県ディスコン協会　会長　山田 武
編集責任者　同事務局長　松本　元伸
URL: http://www.saitama-discon.jp/